

第28回病院祭・医療展を開催しました

テーマ：共に創る健康な地域社会 ～人生100年時代を考える～

夏を思わせるような快晴に恵まれた10月12日（日）、第28回病院祭・医療展を開催しました。

医療講演（地域医療フォーラム in ながの(第34回地域医療懇談会)）



呼吸器内科部長の横関万里医師が『いつかは自分も？肺炎の話 ～誤えん性肺炎の治療と予防～』と題し、誤えん性肺炎の症状や検査について紹介しました。飲み込む機能が低下し、誤えん性肺炎を繰り返すということは「食べられなくなる日が近づいている」ことだとの説明がありました。誤えん性肺炎の治療では、胃・鼻からのチューブによる強制栄養や症状の再発、治りにくさ、他の疾患の悪化など、様々な問題が医療者や家族を悩ませます。人生の終末期には誤えん性肺炎にかかっているかもしれないということを考え、自分の人生の終わりについてあらかじめ考えておく「人生会議」の重要性についても述べました。

話題提供として、リハビリテーション部 田口由紀那 作業療法士の指導のもと、会場の皆さんと嚥下体操を実際に行ったほか、歯科口腔外科外来 北村千明 歯科衛生士が口腔ケアについて話しました。また、長野市地域包括ケア推進課 課長補佐・保健師 丸山知恵美さんが肺炎予防と人生会議に関する長野市の取り組みを紹介しました。



各診療科パネル展示

各診療科で作成したパネルを展示しました。疾患の最新治療のほか、医療講演に関連した「誤嚥性肺炎」についての展示や、認知症予防、フレイル予防、带状疱疹ワクチンなど最近注目されている



話題もありました。来場者からの質問に対し、職員がパンフレットや実物などを使用して説明を行いました。

救急フェア

初期救急講習会では、小児と成人に対する心臓マッサージや AED の使用方法の説明を行いました。また、松代消防署救急隊のご協力のもと救急車・消防車の車内での記念写真を楽しむ方々の姿がありました。今年は AR（拡張現実）による災害疑似体験もあり、大好評でした。



巻き爪ケア講演&体操、化粧品販売

形成外科医長の星野夕紀医師とリハビリテーション部の藤田 拓理学療法士による巻き爪ケアの講演会を行いました。巻き爪を予防し、足の健康を守るために効果的な“足の指の体操”を紹介し、来場者の皆さんと行いました。実際に理学療法士が来場者の足の力などを計測し、生活の中での体操の取り入れ方をアドバイスする時間も設けました。20名限定の講演会の予定でしたが、大変多くの方にお申し込みをいただいたため、急きょ座席数を増やして行いました。

また、形成外科・美容外科外来前では化粧品販売も行い、たくさんの方が訪れていました。



手術体験コーナー（中央手術部）

模擬手術体験コーナーでは、画面を見ながら内視鏡手術機器でお菓子をつかむ手技に挑戦しました。子どもも大人も細かな手技に苦戦しながらも、楽しんでいる様子がうかがえました。



検査体験コーナー（臨床検査部）

今回はピペット体験を行いました。色が混ざらないように試験管に色つきの液体をゆっくり落とし、きれいなレインボーカラーを作ろうと、みんな集中した良い顔をしていました。



放射線体験コーナー（診療放射線部）

CT、MRI、レントゲンでそれぞれ箱の中身を撮影し、その画像から中身を当てるクイズコーナー。大人の方も真剣に考え、楽しんでいました。



調剤体験コーナー（薬剤部）

ラムネを薬に見立て、処方で実際に使われている分包機という機械を使って袋詰めをする人気のコーナー。今年は2台体制で行い、待ち時間が大幅に短縮され、たくさんの方に体験していただきました。



院内ツアー・ドクターヘリ見学

院内ツアーでは、屋上庭園・診療放射線部・ヘリポート・臨床検査部・高気圧酸素治療室の他に、発電時の排熱を冷暖房や給湯に利用できるコージェネレーションシステムの見学を組み込みました。いつもは見ることでできない病院の裏側を見ることができ、参加者は喜んでいました。

毎年、開場と同時に予約が殺到するドクターヘリ見学も天候に恵まれ、ドクターヘリが無事に飛来。機内を見学したり、機長さんの熱心な説明に耳を傾けたり、晴天の中での記念写真を楽しんだりしていました。



医師・看護師体験コーナー

ユニフォームを着て、実際に心肺音のする人体モデルに聴診器を当てるなど、まさに医師・看護師の気分を味わえるコーナー。記念撮影をしたり、実際の医師や看護師から聴診器の使い方を習う姿が見られました。



検診コーナー（各種検診）

骨粗鬆症検査、動脈硬化検査、腸内フローラ検査の他に、スマートフォンを利用した認知機能検査を新たに実施。午前中のみ限定にもかかわらず、多くの方が申し込んでいました。



中庭コンサート

中庭では、開場とともに当院のブラスバンド部によるオープニングセレモニーが行われました。他にも恒例のエレクトーン演奏（ヒオキ楽器共催）や、聴覚に障害のあるピアニストの小林淳一さんによる演奏、3年ぶりとなる小林裕之&秋山桂一郎ジャズセッションが行われました。例年に見ないほどの心地よい風と共に、すばらしい音楽が中庭全体を包み込んでいました。



当院調理師が作る病院レストラン

今回はワンプレートランチを提供しました。価格高騰の中でも工夫を凝らし、地産地消のメニューを用意。限定30食のランチには長蛇の列ができ、大人気のレストランとなりました。



お祭りひろば・風船くばり

今年は風船の量も増やして臨みました。例年のキャラクターの他に、今年は長野県警マスコットキャラクターのライポくんとライピィちゃんも来場し、院内を盛り上げてくれました。



その他の催し物

内視鏡体験や介護用品の展示の他、缶バッジ作りなど、ご紹介できない程の催し物を企画しました。「家族みんなで楽しめる、ホスピタリティ溢れる病院祭」として、今年も様々な場所で来場者の方が楽しんでいる姿を見ることができました。



ポストカード

3年連続となる、詩書家 伊藤 倫さんによるポストカードプレゼント。好評をいただいているコーナーで、医療展の恒例イベントの一つとなっています。来場者の「文字に込めた想い」を聞きながら、多くの作品を書いていただきました。



体力測定

当院リハビリテーション部恒例の催し物です。子どもからお年寄りまでたくさんの方が測定していました。来場者からは「母がこんなに体力があるとは」という驚きの声も聞かれました。



各種販売コーナー

A・コープ松代店による新鮮な野菜や果物の販売、デイリーヤマザキのワンコイン販売、そして「銀座に志かわ」「おぎのや」「ミールケア」の商品販売を行いました。 ※大盛況により完売

